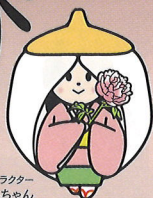


いく度、いい旅が湯沢にはあります。

# ゆざわ

いで湯の里  
匠の里  
小町の里

なび  
Nav*i*



湯沢市観光PRキャラクター  
こまちちゃん



湯沢市観光ガイドブック  
Yuzawa city Sightseeing Guide Book



# ゆざわのゆ



MAP C-4 とうゆおんせん

## 隠れ小町の湯 ◆泥湯温泉

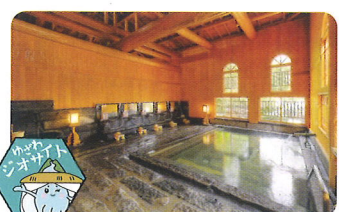
湯沢横手道路須川.I.Cより車で約30分



MAP D-4 おくおやす・おおゆおんせん

## 秘湯小町の湯 ◆奥小安・大湯温泉

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約55分



MAP D-4 おやすきょうおんせん

## 子宝小町の湯 ◆小安峡温泉

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約50分



MAP A-3 ほっとかん

## 美肌小町の湯 ◆ほっと館

湯沢横手道路雄勝こまち.I.Cより車で約10分

いって湯の里湯沢へ  
湯けびり  
目指して  
旅しよう。



# ゆざわのざいさん

横刈桶側胸具足  
(湯沢市指定有形文化財)



## 佐竹南家の歴史

1602年三代義種が湯沢城代として入城し、その後1620年一国一城令により城が取り壊された後は南家の職名は所領と変わります。町割りは御屋敷(現市役所)を中心に築られました。経済面では藩主義直が力を入れた鉱山開発により院内銀山も栄え、湯沢が中継商業地として発展し、やがて酒造業などの産業発展につながっていきました。



佐竹南家御日記  
(秋田県指定有形文化財)



MAP A-3 いなきいざんいじんかん

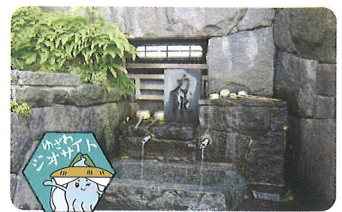
## ◆院内銀山異人館

JR院内駅に併設した、院内銀山の様子を今に伝える資料館です。岩井堂洞窟で出土した土器なども展示しています。

MAP C-2 いなにおじょう

## ◆稲庭城

鎌倉時代初期に雄勝一帯を治めた小野寺氏が築いたと伝えられています。東北最大級のスロープカーで昇降できます。



MAP B-2 ちからみず

## ◆力水

「飲むと力がわく」とも伝えられ、一帯に佐竹南家の御屋敷があったことから「御膳水」と呼ばれていました。



MAP B-3 こまちどう

## ◆小町堂

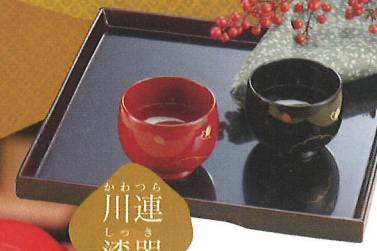
小町を奉る御堂として昭和28年に建てられ、現在の小町堂は平成7年に建て替えられました。



MAP B-3 おしらかまのしだれざくら

## ◆おしら様の枝垂れ桜

白山神社(おしら様)境内にある樹齢約200年の一本桜です。見頃は4月下旬～5月上旬。



かわつら川連漆器

川連漆器は堅牢なことで知られ「堅地仕上げ」といわれる下地塗りを何度も繰り返して、油分が多いつやのある漆で「花塗り」と呼ばれる高度な塗りの技法によりつくられています。装飾に施される繊細で流麗な沈金や蒔絵は、漆器の美しさをより一層引き立て、その品質は高く評価されています。



まげき曲木家具

優雅な曲線を描き、軽量で丈夫な曲木家具。堅木を蒸して型にはめてつくられる19世紀ドイツ発祥の技法は、湯沢の家具職人の手により、今もなお受け継がれています。



おいしいお米と清らかな水、酵母の熟成を左右する冷涼な酒造りに適した気候と杜氏の技とが見事に融合するその風味は、淡麗かつなめらかなので越しの良い美酒として知られています。

ゆざわの酒



ゆざわだこ湯沢風

元禄時代からの伝統をもつ湯沢風。墨一色の「まなこ風」や極彩色を施された武者絵風のものがあり、天にのぼる勢いの良さは緑起物としても親しまれています。



あきた秋田仏壇

川連漆器の塗りや金箔押しが融合された秋田仏壇は、昭和37年に誕生しました。塗りのきめ細かさ、箔の美しさに定評があります。



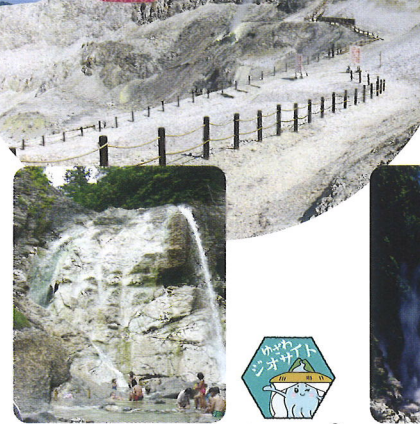
一筆眼の顔、愛らしい前だれ、素朴な味わいを醸し出すたずまい。「川連こけし」は、漆器素地をつくる木地師たちにより、つくり始められたといわれています。



かわつら川連こけし



# ゆざわを 観



ジオパークとは、地球科学的に貴重な自然遺産を含んだ、生態系や人間生活との関わりなどを楽しみながら学べる「ジオ（地球）」公園のことです。左のゆざわジオサイトアイコンが付く観光地は、ゆざわジオパークの中でもあります。おすすめのスポットです！

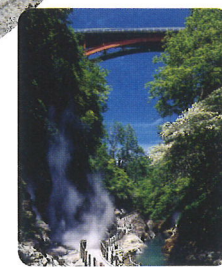
MAP C-4 かわらげじごく

## ◆川原毛地獄

日本三大霊地の一つです。奇岩の連なる岩肌の至る所から水蒸気や火山性ガスが噴出する地獄さながらの光景です。



MAP C-4 かわらげおおゆたき



MAP D-3 おやすきょうだいふんとう

## ◆小安峡大噴湯

皆瀬川の長年の浸食によってできたV字の渓谷。高さ約60mの谷底から熱湯と蒸気が激しく噴出しています。

## ◆川原毛大湯滝

川原毛地獄の遊歩道入口から徒歩約15分。夏場は天然の露天風呂として入ることができます。



MAP C-4 かわらのゆっこ

## ◆川原の湯っこ

役内川の川原をスコップで掘ると温泉が湧き出し、自分だけの足湯を作ることができます。



MAP B-5 かわらん

## ◆神室山 (1,365m)

秋田県と山形県の県境に位置し、「みちのくの小アルプス」と呼ばれ、日本200名山に名を連ねています。



MAP D-3 めたきさ

## ◆女滝沢

樹齢300年以上のブナの大木をはじめ、天然の原生林の中で、トレッキングや森林浴を満喫できます。

# ゆざわを 遊

さかぐらけんがく  
伝統ある酒蔵を見学しよう

## ◆酒蔵見学

- ◆両関酒造(株) / 明治7年創業。建造物は国の登録有形文化財になっています。  
☎0183-73-3143 (要予約)
- ◆秋田銘醸(株) / 大正11年創業。美酒爛漫の銘柄で広く知られています。  
☎0183-73-3161 (要予約)
- ◆(株)木村酒造 / 創業は元和元年。秋田県の中でも歴史ある酒蔵の一つです。  
☎0183-73-3155 (要予約)



MAP C-2 かわつらしきちんきん・まきえたいけん

子どもから大人まで楽しく学べる

## ◆川連漆器沈金・蒔絵体験

☎川連漆器伝統工芸館  
☎0183-42-2410 (要予約)  
休館日：12月31日～1月5日



MAP C-2 いなにわうどんてづくりたいけん

## ◆稲庭うどん手づくり体験

☎佐藤養助総本店  
☎0183-43-2911 (要予約)



湯沢のお酒をぜひ試飲してみてください。



MAP C-2 かわつらしきちんきん・まきえたいけん

## ◆川連漆器沈金・蒔絵体験

☎川連漆器伝統工芸館  
☎0183-42-2410 (要予約)  
休館日：12月31日～1月5日

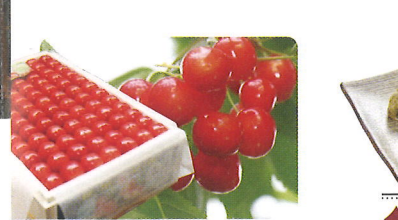


MAP C-3 そばうちたいけん

## ◆そば打ち体験

☎かえて庵  
☎0183-58-5700 (要予約)

# ゆざわを 食



## ◆三関さくらんぼ

佐藤錦が主流で、首都圏市場に出荷され、高い評価を受けています。6月下旬～7月上旬頃に旬を迎えます。



## ◆三関せり

茎が太く、白く長い根が特徴です。香りも良く色も鮮やかで鍋に良く合います。



## ◆稲庭うどん

日本三銘うどんの一つと称される稲庭うどんは、良質な小麦粉、塩、澄んだ水のみで丹念につくれる伝統と真心の逸品です。ふくやかな味わいとコシのある食感、手づくりのぬくもりが幅広い世代に愛され続けています。



## ◆がっこ(漬物)

雪深い湯沢で昔から保存食として受け継がれてきました。地元産の野菜を使った「いぶりがっこ」や「花ずし」など人気があります。



## ◆三梨牛・みなせ牛

大自然の中で育った黒毛和牛です。柔らかく甘味のある高級和牛として定評があります。

## 小安の地熱でおいしいもの

皆瀬地域では、小安峡温泉の温泉熱を利用し、切干大根などの加工食品や低温殺菌処理による風味と栄養価をそのまま凝縮させた牛乳などを製造しています。また、香り高いみつばの栽培も行い、地熱を有効活用しています。





# 湯沢市 全域 マップ



**冬期通行止め**

国道398号/大湯～湯浜 県道323号/小安～東成瀬  
 県道310号/秋～宮～泥湯 県道282号/大湯～須川温泉 (一関市)  
 県道51号/泥湯～小安

### ◆イベントカレンダー

月	イベント名	開催日
	かだる雪まつり	月上旬
	しがっこまつり	月上旬
2	犬っこまつり	第2土曜日とその翌日
	雄勝の雪まつり	第2土曜日
3	湯沢市風あげ大会	第2日曜日
	小町まつり	第2日曜日とその前日
6	小安峡つりっこ大会	第2日曜日
	七夕絵どうろうまつり	5・6・7日
8	雄勝大火花大会	8日
	仮装盆おどり大会	21日
9	院内銀山まつり	21日
	大名行列	第4日曜日
10	全国まるごとどんエクスポ	月上旬
	稲庭城まつり	月上旬
	川連塗りフェア	第1日曜日を挟む金曜日～月曜日

### ◆宿泊施設等案内

名称	TEL 0183
湯沢ロイヤルホテル	72-2131
湯沢グランドホテル	72-3030
ゆざわ温泉	73-0135
湯の原温泉	73-2062
佐東旅館	73-1118
民宿 かわばた食堂	73-4249
小椋旅館	79-3035
奥山旅館	79-3021
小森旅館	42-2345
お宿 山の抄	47-5550
多郎兵衛旅館	47-5016
松葉館	47-5019
元湯くらぶ	47-5151
鶴峯館	47-5335
鳳	47-5209
こまくさ	47-5181
上の湯	47-5073
秋仙	47-5800
やどや三平	47-5440
とうふや旅館	47-5415
とことん山キャンプ場	47-5241
阿部旅館	47-5102
よし川	47-5253
皆瀬休養施設(日帰り湯)	47-5222
旅館 小町荘	52-2140
菊地旅館	52-2329
湯ノ沢温泉 日勝館	52-4129
ほっと館(日帰り湯)	52-2101
鷹の湯温泉	56-2141
新五郎湯	56-2331
おなじみ社	56-2415
太郎兵衛	56-2036
秋の宮山荘	56-2400
宝寿温泉	56-2733
稲住温泉	58-1300

### ◆観光のお問い合わせ

名称	TEL 0183
(一社) 湯沢市観光物産協会	73-0415
(一社) 湯沢市観光物産協会 稲川事務所	43-2649
(一社) 湯沢市観光物産協会 皆瀬事務所	47-5080
湯沢市雄勝観光協会	52-2200
湯沢駅観光案内施設	56-6226
秋の宮温泉組合(鷹の湯温泉内)	56-2141
神室山・虎毛山に関するお問い合わせ	080-5220-4958 (湯沢山岳会 酒樹)

### ◆旅行案内・交通機関案内

名称	TEL 0183
羽後交通観光 湯沢営業所	73-1151
高勝観光	52-2161
稲川観光レンタカー	42-3296
レンタカーこまち	52-5353
レンタカーこまち 湯沢インター店	55-8737
瀬川輪船・橋レンタカー	43-2131
トヨタレンタカー 湯沢店	72-0100
小安タクシー	47-5154
小安タクシー 稲川営業所	43-2005
新生タクシー	73-3171
仙秋タクシー	52-2055
湯沢タクシー	73-2151
湯沢タクシー 川連営業所	42-2015
羽後交通 湯沢営業所	73-1153
JR東日本 湯沢駅	73-2044

### ◆観光ガイド案内

名称	TEL 0183
湯沢観光ガイドの会	090-7078-0009 (小嶋)
雄勝観光ガイドの会 (道の駅おがち内)	52-5500
稲庭観光ガイドの会	43-2364
ゆざわジオパークガイドの会	56-6226
小安峡観光案内人の会	090-2793-5758 (黒澤)



## ゆざわ 歳時記 伝統のまつり



湯沢市には、四季折々の伝統の祭りがたくさんあります。芍薬の花がほころぶ頃、華やかな小町まつりが開かれ、夏もまた、夕やみの夜空を彩る七夕絵どうろうまつりでにぎわいを見せます。そして、豪雪地帯である湯沢市は、雪を活用した祭りも行われます。しんと降りる雪の中、ろうそくに明かりがともると幻想的な世界が広がります。



MAP B-3 こまちまつり

小町が残した歌の世界に想いをはせる

### ◆小町まつり

6月第2日曜日とその前日

平安の歌人「小野小町」をしのび、市内から選ばれた七人の小町娘が小町の作った和歌を朗詠し、奉納します。

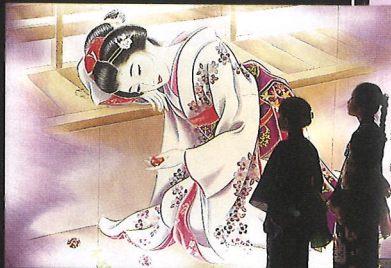


MAP B-2 たなばたえどうろうまつり

夏の風物詩

### ◆七夕絵どうろうまつり

8月5・6・7日



秋田藩佐竹南家に京都からお輿入れになられたお嬢様のために、五色の短冊に郷愁を託し、青竹に飾りつけたのが始まりといわれています。浮世絵や美人画が描かれた大小数百の絵どうろうが夕やみの夜空をあでやかに彩ります。



MAP B-2 いぬっこまつり

メルヘンの世界へといざなう

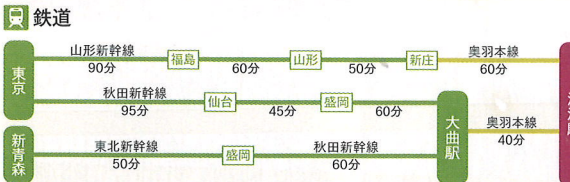
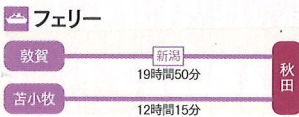
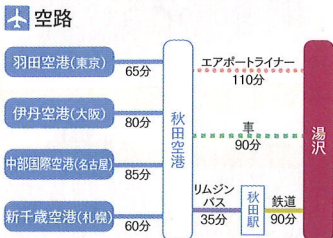
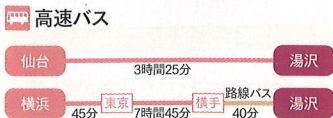
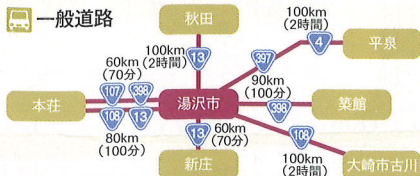
### ◆犬っこまつり

2月第2土曜日とその翌日

犬っこまつりは元和の昔より約400年もの長い間続いているといわれる湯沢地域の民俗行事です。会場内に雪で作ったお堂と犬っこが立ち並び、夜になりお堂のろうそくに火がともると幻想的な雰囲気に包まれます。



## 湯沢市へのアクセス



※アクセスの距離、所要時間はおおよその目安です。天候や道路状況によって変わる場合があります。

お問い合わせ

## 湯沢市産業振興部 観光・ジオパーク推進課

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号  
TEL.0183-73-2111 (代表) FAX.0183-79-5057  
直通.0183-55-8180

ホームページはこちらから検索できます

湯沢市 観光 検索



ゆざわにきてたんせ。